

911.3
八

善追

友甫集

牛二坊撰

世中居士冷照忌



反哺集

五道菴竹二坊撰

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, consisting of several lines of text.

Handwritten text, possibly a signature or a specific line of the document.

Handwritten text, possibly a date or a reference number.



Handwritten text, possibly a signature or a specific line of the document.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, consisting of several lines of text.

Handwritten text, possibly a signature or a specific line of the document.

Handwritten text, possibly a signature or a specific line of the document.

Handwritten text, possibly a signature or a specific line of the document.

Handwritten text, possibly a signature or a specific line of the document.

Handwritten text, possibly a signature or a specific line of the document.

あまのこゝろにさけんらおはし 柳

^{フエ} 木虫中のたぐあれんら 吟

柳 ^{キニス} びと返りて 中家衣衣 舞

柳 ^{シロ} のあしきり 空 舞

柳のつぼみさしり入柳ら 琴

柳 ^{シロ} のつぼみさしり入柳ら 松

柳のつぼみさしり入柳ら 舟

柳のつぼみさしり入柳ら 止

あまのこゝろにさけんらおはし 尚

あまのこゝろにさけんらおはし 出

^{ニラ} あまのこゝろにさけんらおはし 丸

あまのこゝろにさけんらおはし 牛

あまのこゝろにさけんらおはし 柳

あまのこゝろにさけんらおはし 牛

あまのこゝろにさけんらおはし 柳

あまのこゝろにさけんらおはし 牛

松の枝に涼しき白き花ありと 出づ

海に波を巻く花の影ありと 草花

花の影を巻く花の影ありと 夏石

花の影を巻く花の影ありと 未及

下の影を巻く花の影ありと 専ら

花の影を巻く花の影ありと 花

花の影を巻く花の影ありと 花

花の影を巻く花の影ありと 葉菊

ウ

花の影を巻く花の影ありと 花

花の影を巻く花の影ありと 花

花の影を巻く花の影ありと 牛

花の影を巻く花の影ありと 牛

花の影を巻く花の影ありと 花

花の影を巻く花の影ありと 花

花の影を巻く花の影ありと 花

花の影を巻く花の影ありと 石


~~~~~

も

~~~~~

え

~~~~~

あ

~~~~~

は

~~~~~

ま

~~~~~

川

~~~~~

坊

~~~~~

家

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

も

~~~~~

私

~~~~~

石

~~~~~

及

~~~~~

え

~~~~~

も

~~~~~

は

~~~~~

あ

信じてるものゝ心を伝へる

信じてるものゝ心を伝へる

信じてるものゝ心を伝へる

信じてるものゝ心を伝へる

信じてるものゝ心を伝へる

信じてるものゝ心を伝へる

信じてるものゝ心を伝へる

信じてるものゝ心を伝へる

川 花 坊 船 石

白粉とくく 醫^工 教と塗かく

幕中 持中 柏子 本々 鳴る

はれくく かく ちり ちり ちり ちり

あれ ちり ちり ちり ちり ちり

くん ちり ちり ちり ちり ちり

か ちり ちり ちり ちり ちり

あ ちり ちり ちり ちり ちり

い ちり ちり ちり ちり ちり

川 花 坊 船 石

白くはらへし花のうらみしは
白くはらへし花のうらみしは

五

牛二坊

白の松竹あはれは子代をこ

あふりあふりあふりあふり

あふりあふりあふりあふり

大新書、新のうらみし

あふりあふりあふりあふり

あふりあふりあふりあふり

あふりあふりあふりあふり

あふりあふりあふりあふり

五

不

あふりあふりあふりあふり

あふりあふりあふりあふり

常盤岡のさくらんぼの皮のうらみ
東及

常盤岡のさくらんぼの皮のうらみ
常盤岡のさくらんぼの皮のうらみ

常盤

常盤岡のさくらんぼの皮のうらみ

常盤岡のさくらんぼの皮のうらみ
常盤

常盤岡のさくらんぼの皮のうらみ
常盤

常盤岡のさくらんぼの皮のうらみ
常盤

常盤岡のさくらんぼの皮のうらみ
常盤

常盤岡のさくらんぼの皮のうらみ
常盤

常盤岡のさくらんぼの皮のうらみ
常盤

常盤岡のさくらんぼの皮のうらみ
常盤

常盤岡のさくらんぼの皮のうらみ
常盤

常盤岡のさくらんぼの皮のうらみ
常盤

常盤岡のさくらんぼの皮のうらみ
常盤

常盤岡のさくらんぼの皮のうらみ
常盤

くさくさむらさき 藍むらさき 藤 芦 萩

ニヤ 他 藤生も 和者の 菊の 小 伝 青 桐

さくらさくら 金糸 花 牛 舌

はなはなの くらし 大さく 田七 極 菊 袋

さくら さくら 菊 月 新月

伝 藤 くらし 大さく 青 桐 花 柳 風

藤 くらし 大さく 青 桐 花 柳 風

文科の 月 くらし 大さく 青 桐 花 柳 風

ササの くらし 大さく 青 桐 花 柳 風

さくら さくら 金糸 花 牛 舌

藤 くらし 大さく 青 桐 花 柳 風

さくら さくら 金糸 花 牛 舌

藤 くらし 大さく 青 桐 花 柳 風

花

人 里 くらし 大さく 青 桐 花 柳 風

~~~~~の~~~~~十日

全

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

新宅

牛馬

新宅の庭に石を置く

庭に石を置く

庭に石を置く

庭に石を置く

庭に石を置く

庭に石を置く

各塚

東山

新宅の庭に石を置く

庭に石を置く

庭に石を置く

庭に石を置く

庭に石を置く

庭に石を置く

庭に石を置く

白し鼻しちやち格子や書こ

あし  
く  
う  
ほ  
う  
の  
ま  
を  
ち  
ち  
ち  
ち  
ち  
ち  
ち

さ  
さ  
さ  
さ  
さ  
さ  
さ  
さ  
さ  
さ  
さ  
さ

あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ

白  
鼻  
書  
こ

あ  
し

さ  
さ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ



あまのつねにきりぎりすのうた

あまのつねにきりぎりすのうた

あまのつねにきりぎりすのうた

あまのつねにきりぎりすのうた

あまのつねにきりぎりすのうた

あまのつねにきりぎりすのうた

あまのつねにきりぎりすのうた

あまのつねにきりぎりすのうた

あまのつねにきりぎりすのうた 浦和 文呂坊

あまのつねにきりぎりすのうた 文呂坊

あまのつねにきりぎりすのうた 文呂坊

あまのつねにきりぎりすのうた 文呂坊

あまのつねにきりぎりすのうた 文呂坊

あまのつねにきりぎりすのうた 文呂坊

あまのつねにきりぎりすのうた 文呂坊

あまのつねにきりぎりすのうた 文呂坊



あれ中一冊しつるくたさる百 大星 芦紙

社の中しつるくたさる一十とあ 高平坊

一とあしつるくたさるしつるくたさる 福田社中 入不

を原後しつるくたさるしつるくたさる 全 一丁

名月か書中 後取 丸

しつるくたさるしつるくたさる 江戸 嵐袋

しつるくたさるしつるくたさる 江戸 新田

しつるくたさるしつるくたさる 江戸 書

菊しつるくたさるしつるくたさる 川原 文石

菊しつるくたさるしつるくたさる 江戸 梨

菊しつるくたさるしつるくたさる 江戸 栞

菊しつるくたさるしつるくたさる 江戸 専

菊しつるくたさるしつるくたさる 江戸 好

菊しつるくたさるしつるくたさる 江戸 李

菊しつるくたさるしつるくたさる 江戸 丸

菊しつるくたさるしつるくたさる 江戸 川

草花のつぼみ 牛 志

花のつぼみ 牛 志

花のつぼみ 牛 志

花のつぼみ 牛 志

花のつぼみ 牛 志

花のつぼみ 牛 志

花のつぼみ 牛 志

花のつぼみ 牛 志

花のつぼみ 牛 志

花のつぼみ 牛 志

花のつぼみ 牛 志

花のつぼみ 牛 志

花のつぼみ 牛 志

花のつぼみ 牛 志

花のつぼみ 牛 志

花のつぼみ 牛 志

ハ子ツルハ 和田古人  
田舎

詠小

椽~~~~~ 椽るるるる わ 椽もも 女五郎中 ぬき坊

木葺ち~~~~~ の~~~~~ 大坂 ちかま

十~~~~~ の~~~~~ ち~~~~~ の~~~~~ 上総 桂下坊

鳥~~~~~ の~~~~~ ち~~~~~ の~~~~~ 早稲野内 ちかま

二十~~~~~ の~~~~~ ち~~~~~ の~~~~~ 早稲野内 ちかま

抱~~~~~ の~~~~~ ち~~~~~ の~~~~~ 後河 里秋

あ~~~~~ の~~~~~ ち~~~~~ の~~~~~ 紀伊物忌 巴健

さ~~~~~ の~~~~~ ち~~~~~ の~~~~~ 有吉屋 桐

ま~~~~~ の~~~~~ ち~~~~~ の~~~~~ 徳富屋 梨糸

も~~~~~ の~~~~~ ち~~~~~ の~~~~~ 鉄後松橋 陽

な~~~~~ の~~~~~ ち~~~~~ の~~~~~ 金中ノ坊 柳

は~~~~~ の~~~~~ ち~~~~~ の~~~~~ 有徳小坊 子

あ~~~~~ の~~~~~ ち~~~~~ の~~~~~ 京 ちかま

月~~~~~ の~~~~~ ち~~~~~ の~~~~~ 生羽 池

松竹梅の三つは  
徳の三つを  
表す

松竹梅の三つは  
徳の三つを  
表す

松竹梅の三つは  
徳の三つを  
表す

松竹梅の三つは  
徳の三つを  
表す

松竹梅の三つは  
徳の三つを  
表す

松竹梅の三つは  
徳の三つを  
表す

松竹梅の三つは  
徳の三つを  
表す

松竹梅の三つは  
徳の三つを  
表す

松竹梅の三つは  
徳の三つを  
表す

松竹梅の三つは  
徳の三つを  
表す

松竹梅の三つは  
徳の三つを  
表す

松竹梅の三つは  
徳の三つを  
表す

松竹梅の三つは  
徳の三つを  
表す

松竹梅の三つは  
徳の三つを  
表す

松竹梅の三つは  
徳の三つを  
表す

松竹梅の三つは  
徳の三つを  
表す

松竹梅の三つは  
徳の三つを  
表す

松竹梅の三つは  
徳の三つを  
表す

溫故誌

故翁姓松尾諱宗房字忠右衛門伊陽阿  
拜郡植柘村之產也其先為跡平兵衛宗  
清之裔同孫父儀叟諱宗俊娶豫列字和鳥  
桃池氏之女生三男二女長家重仕藤堂  
主殿次宗以翰墨為友固為慶士也次翁  
翁仕藤堂良精良精之男主計良忠號蟬  
吟為季吟之門翁亦愛之蓋蟬吟早世公羽

深傷悼意無當世因竊欲懸冠即乞之不  
聽焉至不得止之而京師學誹于季子吟七  
年誹成下燕都住深川偶植一草悉斂繁茂  
以故自號芭蕉蒼桃青之屢參佛頂禪師  
已得滑稽之趣於是以致誹作俳而後門  
人益多焉從是遊歷諸國勝地佳景所  
至之吟詠亦不少也元祿七年歸本列伊  
賀携支考惟然過奈良難波於浪花卧病

終不起時十月十二日也享年五十有二  
歲美門人各泣哭以葬于粟津義仲寺焉  
嗚呼翁滑稽之長風流之冠實正風祖鼻  
不可忘想像如春泉思其源余頗愛翁之  
癖因同藩之緣即記建馬文政三歲庚  
辰二月

伊賀羽林臣致仕竹二坊識

伊賀羽林臣致仕竹二坊識



和歌山大学  
6457  
3.14  
和

彫工  
東都  
廣井秀峨

